

第 7 期小田原市市民活動推進委員会 報告書（案）

はじめに 【委員長】

諮問事項 市民活動の活性化に向けた資源の確保のあり方について

…答申書 <資料 5 - 2 参照>

…市民活動団体における活動資源に関する調査票及び調査結果

…事例研究

- 1 F A A V O 小田原箱根
- 2 小田原市社会福祉協議会ボランティアセンター
- 3 さがみ信用金庫の C S R 事業
- 4 ちよだボランティアクラブ
- 5 和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業
- 6 吹田市立市民公益活動センター「ラコルタ」

テーマ 1 おだわら市民交流センター U M E C O について

U M E C O で行われている様々な事業や利用状況などについて、指定管理者から報告を受けたが、本委員会の意見は次のとおりである。

1 U M E C O の利用状況について

施設開設から 1 年半が経過し、会議室・活動エリアともに稼働率が上がり、登録団体数も増加していることは、市民活動に寄与する施設として効果を上げていると言える。

また、団体だけでなく、個人の方にも多く利用されているが、特に、誰でも自由に使える交流エリアには、学生の姿を見かけることが多い。施設を訪れていることをきっかけに、色々な事業に参加していただく工夫をし、市民活動に関心を持ってもらい、今後の市民活動の推進につながることを望まれる。

2 U M E C O での実施事業について

市民活動サポートセンター等の施設では実施していなかった新しい事業にも積極的に取り組んでおり、開設前に比べ、市民活動支援に関する事業の幅の広がりが伺われる。

特に、多目的コーナーを使用して、団体の特色を活かしたジャンルごとの企画展を行っている「U M E C O 企画展」、多くの方が市民活動に興味を持ってもらえるよう、イベントや市民活動団体の情報等を掲載している「U M E C O だより」、団体間の交流を深めるとともに日頃の活動成果を発表するために開催した「U M E C O 祭り」は、U M E C O という施設を多くの方に知っていただき、新たな交流や市民活動への参加につながりを感じる。

「U M E C O 企画展」で、企業の C S R 活動の展示など、市民活動団体以外の社会貢献活動の周知も行うことで、施設を訪れる方の層が広がって行くと考えことから、今後さらなる努力を期待する。

3 評価について

指定管理者により運営されているが、その運営評価は、行政の内部評価と指定管理者の自己評価に留まっている。運営状況を適切に評価し、より良い運営状況となるよう、第三者による評価制度の構築が必要である。

テーマ2 市民活動応援補助金交付制度・提案型協働事業の運用見直しについて

市民活動の推進のため、制度がより活用されることを目的に、提出書類や周知方法の見直し等を実施した。

1 書類の簡素化

市民活動団体からも、本制度の申請や報告に関する書類の作成が煩雑だという意見が寄せられていたことから、より申請しやすくするために、提出書類の簡素化を図ることとした。そのため、他市の類似事業における提出書類の状況を確認し、審査等に必要な情報を改めて整理した。

その結果、会計簿の写しの提出を廃止するとともに、市民活動応援補助金にかかる提出書類の記載箇所の一部省略や記載例の内容改正、提案型協働事業にかかる提出書類の記載箇所や提出書類の削減等を実施し、団体の負担軽減を図った。

2 公開の見直し

市民活動応援補助金の審査結果については、今まで、企画提案を行った団体に対して、当該提案事業の審査結果のみを公表し、他の提案事業の得点等は公開していなかった。

しかし、他の提案事業の優れた点等が、翌年度以降の参考となると考え、さらなる市民活動の推進を図ることを目的に、第2次審査の後、認定事業一覧を作成し、他の応募団体等にその得点や審査員意見等を公開することとした。

3 報告会の改正

提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会に、多くの方が参加していただき、制度を広く周知できるよう、UMECOでの開催を継続するとともに、土日曜日の開催を試みることにした。

また、団体の事業報告だけでなく交流会を併せて行うこと、発表時間の変更など、報告する団体以外の方にとっても、聞きやすく魅力ある報告会となるよう工夫することとした。

おわりに【委員長】

市民活動の状況

…市民活動サポートセンター及びUMECO登録団体の分野別登録状況の内訳と推移

…市民活動応援補助金の交付実績・提案型協働事業の実績

審議の経過

小田原市市民活動推進委員会 委員名簿